

感染症の登園基準

※感染症対策ガイドライン参照しております。

病名	潜伏期間	感染可能期間	主症状	登園基準
★ はしか (麻疹)	8~12日	発熱出現1~2日前から発熱後の4日間	①カルタ期→38℃以上の高熱・咳・鼻汁・結膜充血・目やに熱が一時下がる頃、頬内側白い発疹 ②発疹期→耳後部から下方に広がる	発疹に伴う熱が下がった後、3日経過し元気が良く医師が認めたとき
★ 3日はしか (風疹)	14~23日	発疹出現前の7日~出現後7日間	発熱、発疹(顔面→頭部→体幹→四肢)、リンパ節の腫れ	すべての発疹が消失し、医師が認めた時
★ 水ぼうそう (水痘)	11~21日	水疱出現前の1~2日から発疹が消失するまで	解熱、被覆部に発疹(体幹から全身)、紅斑→丘疹→水疱→かさぶた	すべての発疹がかさぶたになり、医師が認めた時
★ おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	14~24日	明らかな症状を示す7日前からその後9日間続く	発熱、耳下腺、舌下腺、顎下腺、腫脹及び圧痛	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、全身状態が良好で、医師が認めた時
★ インフルエンザ	1~4日 (平均2日)	発症24時間前から発病3日程度までが最も強い	発熱、全身倦怠、筋肉痛、鼻汁、咽頭痛、咳	発症後最低5日間かつ解熱後3日を経過し、医師が認めた時
★ アデノウイルス感染症 [咽頭結膜熱] (プール熱)	2~14日	咽頭から2週間 糞便から数週間 排泄	39℃前後の発熱、咽頭痛、頭痛、食欲不振、結膜充血、眼脂	感染のおそれがないと医師が認めた時
★ 百日咳	7~10日	感染後約3週間	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失し医師が認めた時
★ 結核	2年以内 (特に6ヶ月以内に多い)	喀痰の塗抹検査が陽性の間	咳、痰、発熱で初発し、2週間以上続く	医師により感染のおそれなくなったと認められるまで
★ 腸管出血性大腸菌感染症 (O-157)	3~8日	便中に菌を排泄している間	腹痛、血便、水様便、発熱	感染のおそれがないと医師が認めた時
★ 流行性結膜炎 (はやり目)	2~14日	発病後約2週間	流涙、結膜充血、眼脂、耳前リンパ節の腫脹と圧痛	治療をし、医師が認めた時
★ 急性出血性結膜炎	1~3日	ウイルス排出が呼吸器1~2週間 便 数週間~数ヶ月	急性結膜炎で結膜出血	感染のおそれがないと医師が認めた
★ 帯状疱疹	不定	すべての発疹がかさぶたになるまで	小水疱が肋間神経にそった形で片側に現れる。	すべての発疹がかさぶたになるまで
★ 溶連菌感染症	2~5日	抗菌薬内服後24時間が経過するまで	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、毒舌	有効治療を始めてから2~3日経過
★ 感染症性胃腸炎 (ノロウイルス) (ロタウイルス)	ノロウイルス 12~24時間 ロタウイルス 1~3日	症状の有る時期が主なウイルス排泄期間	下痢、腹痛、嘔気/嘔吐、発熱	嘔吐・下痢等の症状が治まり、感染のおそれがないと医師が認めたとき 普通の食事がとれるようになった時
★ RSウイルス感染症	2~8日	3~8日 (乳児は3~4週間)	発熱、鼻汁、咳嗽、喘鳴、呼吸困難	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと 症状がおさまる医師が認めた時
★ ヒトメタニューモウイルス感染症	3~5日	発熱後1~4日	発熱、鼻汁、咳嗽、喘鳴、呼吸困難	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと 症状がおさまる医師が認めた時

病名	潜伏期間	感染可能期間	主症状	登園基準
★ A型肝炎	15~50日	発症1~2週間前後	発熱、全身倦怠感、食欲不振、悪心、嘔吐、解熱後は	肝機能が正常であること 症状がおさまる医師が認めた時
★ マイコプラズマ肺炎	14~21日	臨床症状発現時がピークその後4~6週間	咳、発熱、頭痛などがゆっくり進行し、咳は徐々に激しくなる	発熱や激しい咳がおさまる医師が認めた時
★ 手足口病	3~6日	唾液 1週間 便 数週間	軽度発熱 手足口の赤斑→水疱	発熱がなく(解熱後1日以上経過し)、普段の食事が出来、医師が認めた時
★ ヘルパンギーナ	3~6日	唾液 1週間 便 数週間	高熱、咽頭痛、咽頭に水疱	発熱がなく(解熱後1日以上経過し)、普段の食事が出来、医師が認めた時
★ りんご病 (伝染性紅斑)	4~21日	かぜ症状発現から顔に発疹が出現するまで	顔面赤斑、手足に網目状の紅斑	(発疹が出現した頃には、すでに感染力は消失しているので) 全身状態がよければ登園可能
★ 単純ヘルペス感染症	2日~2週間	水疱を形成している間	歯肉口内炎、口周囲の水疱 歯肉が腫れ、出血しやすく、口内痛も強い	発熱がなく、よだれが止まり、普段の食事ができること
★ 突発性発疹	約10日間	発熱中	高熱3~4日後に全身に発疹	解熱後1日以上経過し、全身状態が良く、医師が認めた時
★ とびひ (伝染性膿痂疹)	2~10日	効果的治療開始後24時間まで	湿疹、虫刺され痕を掻きこわした部に細菌感染し、びらん、水疱形成、掻痒感が強い	発熱がなく(解熱後1日以上経過し)、普通の食事が出来、医師が認めた時
★ アタマジラミ	10~14日	産卵から最初の若虫が孵化するまでの2週間程	小児では多くが無症状 卵はフケと間違われることがある	駆除を開始し、医師が認めた時
★ ミズイボ (伝染性軟属腫)	2~7週間	不明	半球状丘疹で四肢、体幹等に数個~数十個が集簇する	掻きこわし傷から滲出液が出ている時は被覆すること
★ B型肝炎	45~160日	HBs抗原、HBe抗原陽性の期間	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸など	症状が消失し、全身状態が良く、医師が認めた時

★印の感染症については**意見書**(病院で書いてもらうもの)。  
その他は**登園届**(保護者が書くもの)の提出が必要です。

詳しくは、「園のしおり」のP10・11をご覧ください、しおりの巻末にある用紙またはHPに掲載の用紙をコピーしてご使用下さい。